

特 許 協 力 条 約

PCT

国際予備審査報告

(法第12条、法施行規則第56条)  
[PCT36条及びPCT規則70]

REC'D 24 JUN 2004

WIPO

PCT

出願人又は代理人 の書類記号 P 3 0 4 1 2 - P 0	今後の手続きについては、国際予備審査報告の送付通知(様式PCT/ IPEA/416)を参照すること。	
国際出願番号 PCT/J P 0 3 / 0 4 1 6 1	国際出願日 (日.月.年) 3 1 . 0 3 . 2 0 0 3	優先日 (日.月.年) 0 1 . 0 4 . 2 0 0 2
国際特許分類 (IPC) Int. Cl <sup>7</sup> H 0 4 N 5 / 9 1 , H 0 4 N 5 / 9 0 7		
出願人 (氏名又は名称) 松下電器産業株式会社		

1. 国際予備審査機関が作成したこの国際予備審査報告を法施行規則第57条(PCT36条)の規定に従い送付する。

2. この国際予備審査報告は、この表紙を含めて全部で 3 ページからなる。

☒ この国際予備審査報告には、附属書類、つまり補正されて、この報告の基礎とされた及び/又はこの国際予備審査機関に対してした訂正を含む明細書、請求の範囲及び/又は図面も添付されている。

(PCT規則70.16及びPCT実施細則第607号参照)

この附属書類は、全部で 7 ページである。

3. この国際予備審査報告は、次の内容を含む。

I ☒ 国際予備審査報告の基礎II ☐ 優先権III ☐ 新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての国際予備審査報告の不作成IV ☐ 発明の単一性の欠如V ☒ PCT35条(2)に規定する新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての見解、それを裏付けるための文献及び説明VI ☐ ある種の引用文献VII ☐ 国際出願の不備VIII ☐ 国際出願に対する意見

国際予備審査の請求書を受理した日 0 5 . 0 9 . 2 0 0 3	国際予備審査報告を作成した日 0 2 . 0 6 . 2 0 0 4	
名称及びあて先 日本国特許庁 (IPEA/J P) 郵便番号100-8915 東京都千代田区霞が関三丁目4番3号	特許庁審査官(権限のある職員) 野村 章子	5 C 2 9 4 9
電話番号 03-3581-1101 内線 3540		

様式PCT/IPEA/409 (表紙) (1998年7月)

## I. 国際予備審査報告の基礎

1. この国際予備審査報告は下記の出願書類に基づいて作成された。(法第6条(PCT14条)の規定に基づく命令に  
 応答するために提出された差し替え用紙は、この報告書において「出願時」とし、本報告書には添付しない。  
 PCT規則70.16, 70.17)

☐ 出願時の国際出願書類

☒ 明細書 第 1-31 ページ、 出願時に提出されたもの  
 明細書 第 ページ、 国際予備審査の請求書と共に提出されたもの  
 明細書 第 ページ、 付の書簡と共に提出されたもの

☒ 請求の範囲 第 1-4, 6-8, 10-11, 14-17, 19-21, 23-24項、 出願時に提出されたもの  
 請求の範囲 第 項、 PCT19条の規定に基づき補正されたもの  
 請求の範囲 第 項、 国際予備審査の請求書と共に提出されたもの  
 請求の範囲 第 5, 9, 12, 18, 22, 25 項、 16.02.2004 付の書簡と共に提出されたもの

☒ 図面 第 1-20 ページ/図、 出願時に提出されたもの  
 図面 第 ページ/図、 国際予備審査の請求書と共に提出されたもの  
 図面 第 ページ/図、 付の書簡と共に提出されたもの

☐ 明細書の配列表の部分 第 ページ、 出願時に提出されたもの  
 明細書の配列表の部分 第 ページ、 国際予備審査の請求書と共に提出されたもの  
 明細書の配列表の部分 第 ページ、 付の書簡と共に提出されたもの

2. 上記の出願書類の言語は、下記に示す場合を除くほか、この国際出願の言語である。

上記の書類は、下記の言語である \_\_\_\_\_ 語である。

- ☐ 国際調査のために提出されたPCT規則23.1(b)にいう翻訳文の言語  
☐ PCT規則48.3(b)にいう国際公開の言語  
☐ 国際予備審査のために提出されたPCT規則55.2または55.3にいう翻訳文の言語

3. この国際出願は、ヌクレオチド又はアミノ酸配列を含んでおり、次の配列表に基づき国際予備審査報告を行った。

- ☐ この国際出願に含まれる書面による配列表  
☐ この国際出願と共に提出された磁気ディスクによる配列表  
☐ 出願後に、この国際予備審査(または調査)機関に提出された書面による配列表  
☐ 出願後に、この国際予備審査(または調査)機関に提出された磁気ディスクによる配列表  
☐ 出願後に提出した書面による配列表が出願時における国際出願の開示の範囲を超える事項を含まない旨の陳述書の提出があった  
☐ 書面による配列表に記載した配列と磁気ディスクによる配列表に記録した配列が同一である旨の陳述書の提出があった。

4. 補正により、下記の書類が削除された。

☐ 明細書 第 \_\_\_\_\_ ページ  
☒ 請求の範囲 第 13, 26 項  
☐ 図面 図面の第 \_\_\_\_\_ ページ/図

5. ☐ この国際予備審査報告は、補充欄に示したように、補正が出願時における開示の範囲を越えてされたものと認められるので、その補正がされなかったものとして作成した。(PCT規則70.2(c) この補正を含む差し替え用紙は上記1.における判断の際に考慮しなければならず、本報告に添付する。)

V. 新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての法第12条（PCT35条(2)）に定める見解、それを裏付ける文献及び説明

1. 見解

新規性 (N)	請求の範囲	1-12, 14-25	有
	請求の範囲		無
進歩性 (IS)	請求の範囲	1-12, 14-25	有
	請求の範囲		無
産業上の利用可能性 (IA)	請求の範囲	1-12, 14-25	有
	請求の範囲		無

2. 文献及び説明 (PCT規則70.7)

請求の範囲1-12, 14-25

請求の範囲1-12, 14-25に記載された発明は、国際調査報告で引用された文献に対して新規性、進歩性を有する。

画像再生装置において、画像ファイル記憶メディア内に格納された自動再生ファイル情報を読み出し、読み出された自動再生ファイルに基づき、自動再生可と記述された画像ファイルのサムネイル画像を画像ファイル記憶メディアから読み出し、読出したサムネイル画像を一覧表示することは、国際調査報告で引用されたいずれの文献にも記載されておらず、当業者にとって自明なものでもない。

前記制御部は、前記読み出し部によって読み出された前記自動再生ファイルにおいて、自動再生否と記述された画像ファイルについてサムネイル画像に代えてダミーの画像を前記記憶素子より読み出すように制御することを特徴とする請求項1記載の画像再生装置。

5

4. 前記サムネイル画像の表示をダミー画像で表示するか、サムネイル画像として表示するかを選択する入力部を更に有し、

前記制御部は、前記入力部でサムネイル画像が選択されたときにサムネイル画像を前記画像ファイル記憶メディアから読み出し、前記入力部でダミー  
10 画像が選択されたときに前記記憶素子よりダミー画像を読み出すように制御することを特徴とする請求項3記載の画像再生装置。

5. (補正後) 前記制御部は、全ての画像ファイルのサムネイル画像を前記画像ファイル記憶メディアから読み出し、

15 前記画像展開部は、

前記読み出し部によって読み出された自動再生ファイルにおいて自動再生可と記述された画像ファイルのサムネイル画像を正常な画像として展開すると共に、自動再生否と記述された画像ファイルのサムネイル画像を展開する際に、認識の困難な画像として展開することを特徴とする請求項1記載の  
20 画像再生装置。

6. 前記画像展開部は、

前記画像ファイル記憶メディアに格納された画像ファイル情報を入力として画像ファイルを伸張するファイル伸張部と、

25 前記記憶素子への書き込みアドレスを発生する書き込みアドレス発生部と、  
前記記憶素子への読み出しアドレスを発生する読み出しアドレス発生部と、  
を具備するものであり、

前記自動再生ファイルの情報により自動再生否と記述された画像ファイルのサムネイル画像を展開する際に、前記書き込みアドレス発生部により前記記憶素子への書き込みアドレスを不連続の所定の規則性に則って発生させることを特徴とする請求項 5 記載の画像再生装置。

5

7. 前記画像展開部は、

前記画像ファイル記憶メディアに格納された画像ファイル情報を入力として画像ファイルを伸張するファイル伸張部と、

前記記憶素子への書き込みアドレスを発生する書き込みアドレス発生部と、

10 前記記憶素子への読み出しアドレスを発生する読み出しアドレス発生部と、  
を具備するものであり、

前記自動再生ファイルの情報により自動再生否と記述された画像ファイルのサムネイル画像を展開する際に、前記読み出しアドレス発生部により前記記憶素子への読み出しアドレスを不連続の一定の規則性に則って発生させる

15 請求項 5 記載の画像再生装置。

8. 前記画像展開部は、

前記画像ファイル記憶メディアに格納された画像ファイル情報を入力として画像ファイルを伸張するファイル伸張部と、

20 前記記憶素子への書き込みアドレスを発生する書き込みアドレス発生部と、  
前記記憶素子への読み出しアドレスを発生する読み出しアドレス発生部と、  
を具備するものであり、

前記自動再生ファイルの情報により自動再生否と記述された画像ファイルのサムネイル画像を展開する際に、前記書き込みアドレス発生部により前記  
25 記憶素子への書き込みアドレスを不連続の一定の規則性に則って発生させると共に、前記読み出しアドレス発生部によりその読み出しアドレスを不連続の一定の規則性に則って発生させる請求項 5 記載の画像再生装置。

9. (補正後) 前記記憶素子は、前記ダミー画像として第1及び第2の異なるダミー画像データを保持するものであり、

5 前記制御部は、自動再生ファイルにおいて自動再生否と記述された画像ファイルはそのサムネイル画像に代えて第1のダミー画像を前記記憶素子より読み出すように制御すると共に、前記自動再生ファイル情報に自動再生可と記述された画像ファイルのサムネイル画像のサムネイル画像を前記画像ファイル記憶メディアから読み出す際に前記サムネイル画像が前記画像ファイル内に格納されていない場合、前記第2のダミー画像を前記記憶素子より読み出すように制御することを特徴とする請求項3記載の画像再生装置。

10

10. 前記制御部は、全てのサムネイル画像が任意の画面上に出力された後に再度前記サムネイル画像が格納されていない画像ファイルの主画像を読み出し、前記主画像をサムネイル画像サイズに前記主画像のサイズを縮小した後、前記第2のダミーの画像で表示されている画像を前記縮小されたサムネイル画像に置き換えるように制御することを特徴とする請求項9記載の画像再生装置。

15

11. 前記認識の困難な画像として表示されたサムネイル画像に対し、その表示を解除するか否かを選択する入力部を更に有し、

20

前記制御部は、前記入力部によって認識の困難な画像として展開された画像表示が解除されたときに、その画像に対応するサムネイル画像を前記画像ファイルより読み出すように制御することを特徴とする請求項5記載の画像再生装置。

25

12. (補正後) 前記ダミーの画像で表示したサムネイル画像に対し、前記ダミーの画像の表示を解除するか否かを選択する入力部を更に有し、

前記制御部は、前記入力部によって前記ダミーの画像での表示が解除されたときに、その画像に対応するサムネイル画像を前記画像ファイルより読み出すように制御することを特徴とする請求項 3 記載の画像再生装置。

5      1 3. (削除)

1 4. 主画像情報及びサムネイル画像情報を任意のフォーマットで格納した複数の画像ファイル、及び前記複数の画像ファイルについて少なくとも自動再生の可否や再生順序を含む制御情報を記述した自動再生ファイルを格納した画像ファイル記憶メディアのサムネイル画像を表示する画像再生方法であって、

前記画像ファイル記憶メディア内に格納された前記自動再生ファイル情報を読み出し、

15      前記自動再生ファイルに自動再生可と記述された画像ファイルのサムネイル画像情報を前記画像ファイル記憶メディアから読み出し、

前記読出したサムネイル画像を一覧表示することを特徴とする画像再生方法。

20      1 5. 前記画像ファイル記憶メディア内に格納された前記自動再生ファイル情報を読み出した後、

前記自動再生ファイルで自動再生可と記述された画像ファイルにサムネイル画像のみを表示するか、前記自動再生ファイル情報にかかわらず前記画像ファイル記憶メディア内に格納された全画像ファイルのサムネイル画像を表示するかを選択入力を待ち受け、

25      前記画像ファイル記憶メディアから選択されたサムネイル画像を読み出すことを特徴とする請求項 1 4 記載の画像再生方法。

16. 前記自動再生ファイルにおいて自動再生否と記述された画像ファイルについて、サムネイル画像に代えてダミーの画像で表示することを特徴とする請求項14記載の画像再生方法。

- 5      17. 前記サムネイル画像の表示をダミーの画像で表示を行わせるかサムネイル画像として表示するかを選択入力を待ち受け、

選択されたサムネイル画像を表示することを特徴とする請求項16記載の画像再生方法。

- 10      18. (補正後) 前記画像ファイル記憶メディアから全画像のサムネイル画像を読み出し、

前記自動再生ファイルにおいて自動再生可と記述された画像ファイルのサムネイル画像は、そのままサムネイル画像として表示し、

- 15      前記自動再生ファイルにおいて自動再生否と記述された画像ファイルのサムネイル画像は、そのサムネイル画像を表示する際に認識の困難な画像として展開して表示することを特徴とする請求項14記載の画像再生方法。

19. 前記画像展開するステップは、

- 20      前記画像ファイル記憶メディアに格納された前記画像ファイル情報を入力としてファイルを伸張し、

前記画像ファイル記憶メディアに格納された前記自動再生ファイルの情報により自動再生否と記述された画像ファイルのサムネイル画像を表示する際に、伸張された画像データを書き込む記憶素子に対して不連続の所定の規則性に則って書き込みアドレスを発生し、

- 25      前記記憶素子に書き込まれた画像データを読み出す際にその読み出しアドレスを順次発生することを特徴とする請求項18記載の画像再生方法。



20. 前記画像を展開するステップは、

前記画像ファイル記憶メディアに格納された前記画像ファイル情報を入力としてファイルを伸張し、

前記記憶素子への書き込みアドレスを順次発生し、

- 5 前記画像ファイル記憶メディアに格納された前記自動再生ファイルの情報により自動再生否と記述された画像ファイルのサムネイル画像を表示する際に、前記記憶素子に書き込まれた画像データを読み出す読み出しアドレスを不連続の一定の規則性に則って発生することを特徴とする請求項18記載の画像再生方法。

10

21. 前記画像を展開するステップは、

前記画像ファイル記憶メディアに格納された前記画像ファイル情報を入力としてファイルを伸張し、

- 15 前記画像ファイル記憶メディアに格納された前記自動再生ファイルの情報により自動再生否と記述された画像ファイルのサムネイル画像を表示する際に、伸張された画像データを書き込む記憶素子に対して不連続の一定の規則性に則って書き込みアドレスを発生し、

前記記憶素子に書き込まれた画像データを読み出す読み出しアドレスを不連続の一定の規則性に則って発生することを特徴とする請求項18記載の画像再生方法。

20

22. (補正後) 前記ダミー画像として第1及び第2の相異なるダミー画像データを保持し、

- 25 前記自動再生ファイルにおいて自動再生否と記述された画像ファイルのサムネイル画像は、第1のダミーの画像で表示し、

前記自動再生ファイル情報に自動再生可と記述された画像ファイルのサムネイル画像を前記画像ファイル記憶メディアから読み出す際に前記サムネイ

ル画像が前記画像ファイル内に格納されていない場合、前記第2のダミーの画像で表示を行わせることを特徴とする請求項16記載の画像再生方法。

23. 全てのサムネイル画像が任意の画面上に出力された後に再度前記サムネイル画像が格納されていない画像ファイルの主画像を読み出し、

サムネイル画像サイズに前記主画像のサイズを縮小した後、前記第2のダミーの画像で表示されている画像を前記縮小されたサムネイル画像に置き換えることを特徴とする請求項22記載の画像再生方法。

- 10 24. 前記認識の困難な画像として表示されたサムネイル画像に対し、その表示を解除するか否かを選択する入力を待ち受け、

認識の困難な画像としての表示が解除されたときに、その画像に対応するサムネイル画像を前記画像ファイルに本来格納されているサムネイル画像に置き換えることを特徴とする請求項18記載の画像再生方法。

15

25. (補正後) 前記ダミーの画像で表示されたサムネイル画像に対し、前記ダミーの表示を解除するか否かを選択する入力を待ち受け、

ダミーの画像での表示が解除されたときに、その画像に対応するサムネイル画像を前記画像ファイルに本来格納されているサムネイル画像に置き換えることを特徴とする請求項16記載の画像再生方法。

20

26. (削除)